

『果菜類のうどんこ病対策について』

ナスやキュウリ、カボチャなど果菜類に、うどんこ病の発生が多くなる時期となりました。早いうちからしっかり対策を行いましょう。

○うどんこ病の症状

- ・葉の表面にうどん粉をまぶしたように白いカビが生える
- ・葉の表面が覆われると、光合成が阻害されたり、葉から栄養を吸収されるので生育不良になり食味が低下したりする
- ・花梗部で発生すると、開花を阻害する



うどんこ病による被害の様子

○発生しやすい条件

- ・涼しく湿度が低いと繁殖しやすくなる
- ・風通しの悪いところで多発する
- ・露地栽培より施設栽培での発生が多い

○防除

- ・多発すると防除が難しくなるので予防的防除を基本とし、発生初期の防除を徹底する
- ・農薬はアフェットフロアブル、ダコニール1000、ベルコート水和剤、トリフミン水和剤、カリグリーン等でうどん粉病の防除ができる(うどんこ病もいくつか種類があるため登録内容をよく確認して薬剤を選択して下さい)

※同じ農薬の連用をすると耐性菌が増殖して農薬の効きが悪くなるので、複数の農薬(最低2種類)を使いましょう。

登録農薬例(ナス、キュウリ、カボチャを対象)

農薬名		倍率	使用時期	使用回数
アフェットフロアブル		2000	収穫前日まで	3回以内
ダコニール 1000		1000	収穫前日まで	4回以内
ベルコート水和剤	ナス	3000	収穫前日まで	3回以内
	キュウリ	2000~4000	収穫前日まで	7回以内
	カボチャ	1000~2000	収穫7日前まで	4回以内
トリフミン水和剤		3000~5000	収穫前日まで	5回以内
カリグリーン		800~1000	収穫前日まで	回数制限無し